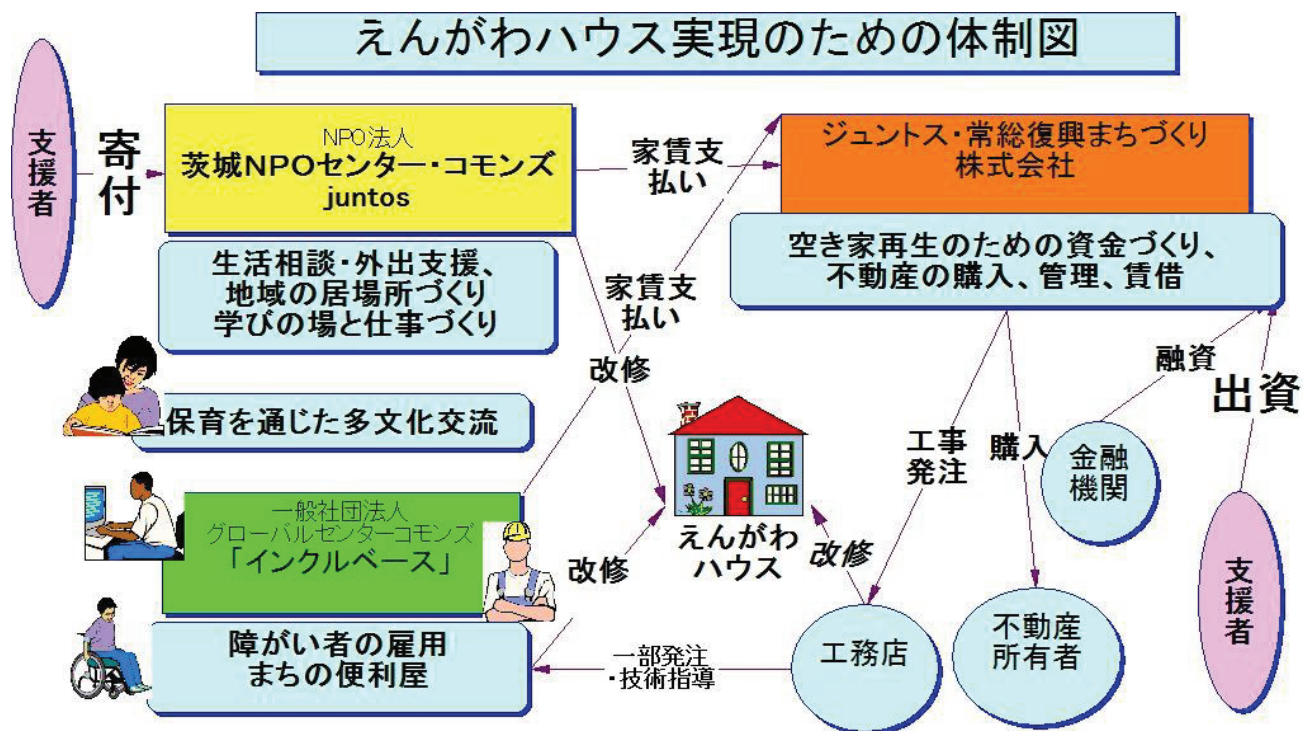


えんがわハウス実現のための費用		資金調達方法	
土地建物取得	3,000万円	出資	500万円
改修・設備費	3,140万円	寄付	1,000万円
合計	6,140万円	行政補助	2,140万円(選定)
(土地の一部は購入までの間、賃借予定)		融資・借入れ	2,500万円
		合計	6,140万円

寄付はNPOコモンズが受け入れ、改修費とハウスでの交流事業運営費に充てます。認定NPO法人であるコモンズへの寄付は寄付控除の対象になります。
出資と融資(金融機関・個人)は株式会社が受け、出資については1株10,000円、議決権と配当はありませんが、株主優待サービスを実施します。(ご検討いただける場合は、下記までご連絡ください)



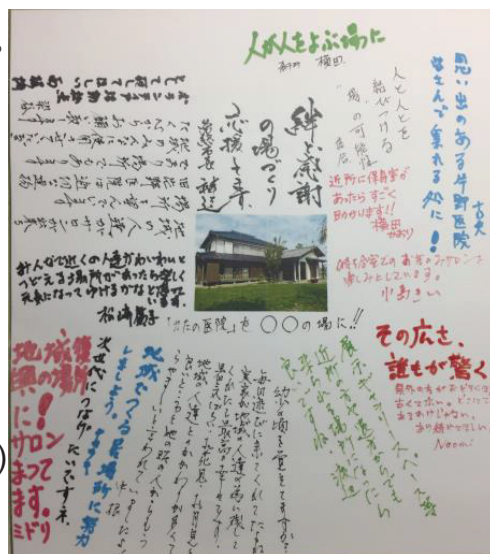
NPOコモンズは、移動支援と相談対応、多世代交流の企画、さらに多文化保育事業を行います。障害者雇用を行うインクルベースは、施設改修とハウスの運営(接客、調理、介助など)と地域の人たちの家事支援、片付け支援などを担います。二つの団体がハウスに入居し、雇用とサービスを生み出しながら、家賃を会社に払います。会社は、団体からの家賃収入、ハウス利用者からの収入の中から借り入れの返済を行います。

支援をご検討いただける方は、下記までご連絡ください。

認定NPO法人 茨城NPOセンター・コモンズ
(中央労働金庫水海道支店 普通 5009041)

ジュントス・常総復興まちづくり株式会社
(郵便振込口座 10630-43574101)

〒303-0005 茨城県常総市水海道森下町4335
TEL: 0297-44-4281、090-8854-0831 (横田)
eメール: juntos@npocommons.org
ウェブサイト: www.juntos-joso.org



常総水害の被災者支援にご協力いただいた皆さま

常総復興の拠点「えんがわハウス」実現のため、お力添えをお願いします

多様な人が集い、仲間や生きがいを得ること、次世代を育てることが災害からの復興に繋がります



常総市の復興における課題は、持ち主が直せない空き家の増大と人口流出、店舗の減少、高齢者などでひきこもりがちの人が増えていることです。地域の再生に取り組む中で、水害前日まで診療が行われていた「旧片野医院」と築100年の住宅が片付けられていないままになっていることを知り、地域の方々からも、この場を残し活用することを望む声が多く寄せられました。

私たちは一昨年の秋からこの家の片付けや泥落としの作業に取り組みましたが、500坪の土地と建物を購入しなければこの場を残せない状況に直面しました。この場を地域の拠点に再生するには、土地購入に約3,000万円、さらに改修に約3,000万円の費用が必要です。

そこで新たにジュントス・常総復興まちづくり株式会社を設立し、国の補助事業(2,000万円)の選定を受けました。それ以外の資金をつくるために、NPOへの寄付、会社への出資、貸付のかたちで資金をつくることにしました。

大きなチャレンジですが、一人一人の想いを大事にし、それを重ねながら、共に活動することが復興につながると信じて取り組んでまいります。ついては、可能なかたちでのご支援を賜りたくお願い申し上げます。

2018年1月

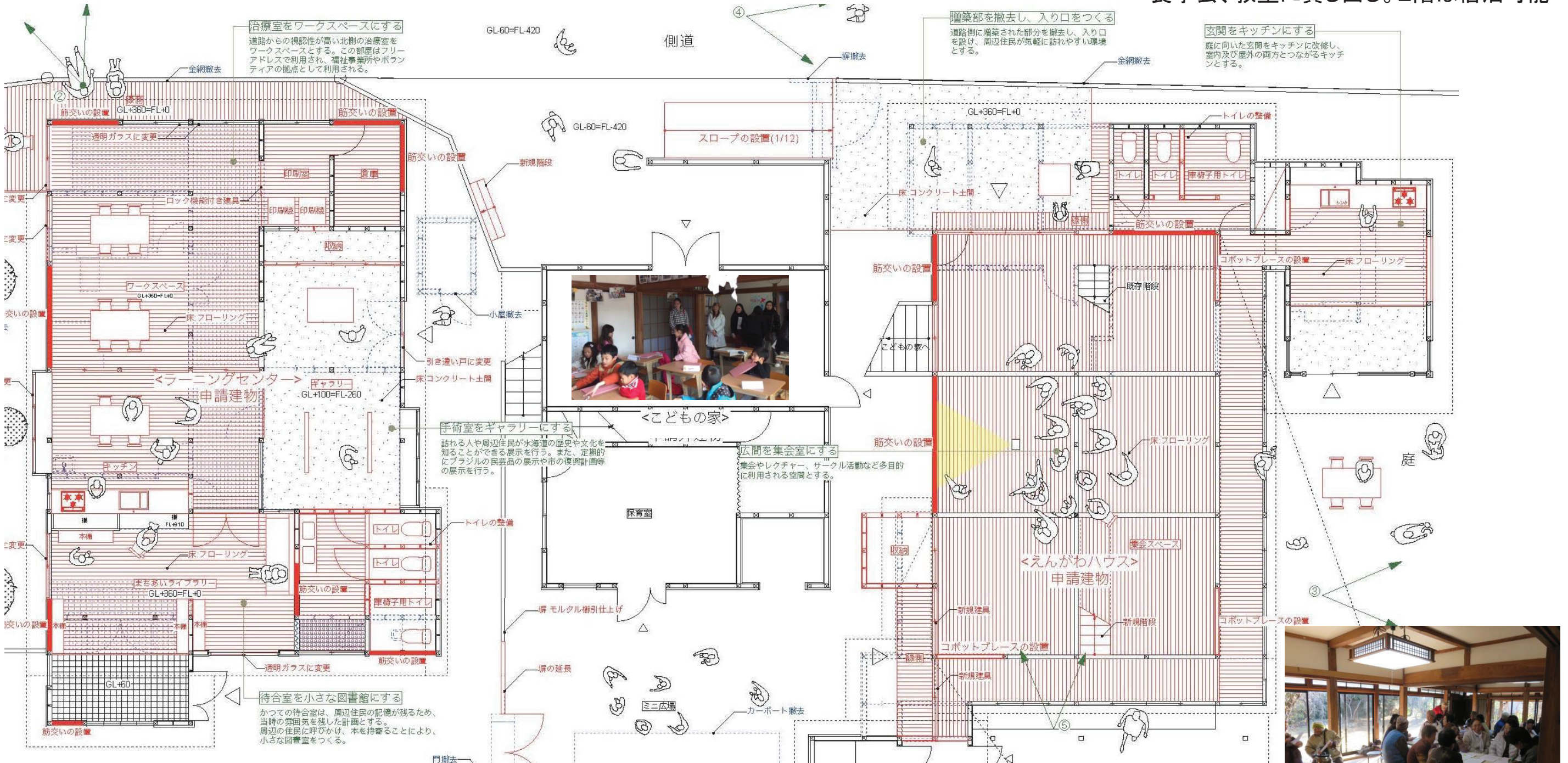
認定特定非営利活動法人 茨城NPOセンター・コモンズ
ジュントス・常総復興まちづくり株式会社
代表 横田 能 洋

旧診療所はカフェ、住宅は子育て支援と多世代交流施設として再生します

井戸端のカフェ、趣味、健康、防災、多文化などを学べる学習拠点、暮らしのよろず相談所

言葉の壁を超え、共に育つ多文化保育。保育・教育・福祉の担い手を育む学舎

44畳のホールと広い庭を多様なイベント、食事会、教室に貸し出し。2階は宿泊可能



11月の内覧会では「いつでも気軽に行ける場が欲しい」との声が多く寄せられました。暮らしの悩みでは「車の運転ができず買い物が不便」、「処分したいものがあったても運べない」という声もありました。送迎も組み合わせ、集まれる場をつくることで、買い物や趣味を楽しんだり、住民それぞれが、ものづくり、話し相手や見守り、調理、学習支援など、できることで助けあう関係ができそうです。